

令和4年度の研究(または活動)内容

(1) 講演会(第1回)

講師:小島正美氏(本学名誉教授)

テーマ:「情報社会のウェルビーイングと情報倫理」

日時:2022年8月10日(水)14:00~15:30

主催:東北工業大学 Well-being 研究所

後援:東北工業大学研究支援センター

形式:zoom

参加者:29名

東北工業大学 Well-being 研究所令和4年度講演会



参加費 無料

講演
情報社会のウェルビーイングと情報倫理

東北工業大学名誉教授 **小島 正美** 先生

情報社会において、テクノロジーの発展に伴い、コミュニケーションの形態は変化してきています。SNS (Social Networking Service) の利用は、われわれの生活をウェルビーイングな状態にすることに役立っていますが、情報倫理・情報セキュリティ対策が同時に必要となります。ここでは、情報倫理に焦点をあわせて述べたいと思います。

開催日時 2022年8月10日(水) 14:00~15:30 (13:30~アクセス可能)

開催方法 オンライン会議アプリ「Zoom(ミーティング)」で配信

※あらかじめ「Zoom」をPCやスマートフォンなどのデバイスにインストールしておいていただきますようお願いいたします。

申込方法

- 事前申し込みが必要です。
- 申し込み締め切り:2022年8月3日(水)

<https://forms.office.com/r/VJBkhj4Zr>

もしくはQRコードからお申込みください。

※開催3日前までに、参加用 Zoom URL、ID、パスワードをメールにてお送りいたします。

※ZoomおよびZoom(ロゴ)は、Zoom Video Communications, Inc.の商標およびその他の国における登録商標または商標です。



略歴: 小島 正美 (こじま まさみ)
特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク理事長。
東北工業大学名誉教授。
1946年岐阜県生まれ。1967年東北工業大学工業教員養成所電気工学科卒業。同年4月東北工業大学電子通信工学科助手、講師、助教授を経て教授。2008年にライフデザイン学部経営コミュニケーション学科教授となり、2013年東北工業大学定年退職。2003年情報リテラシー教育を考える会設立。2009年特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク代表理事、現在理事長。2008年3月「オブジェクト指向設計によるチャット文字認識の発展」で、情報処理学会平成19年度山下記念研究賞受賞。博士(工学)、日本コミュニケーション学会正会員、「子ども・若者のSNS利用の問題に関する研究」に従事。編著「[第3版]情報社会のデジタルメディアとリテラシー-情報倫理を学ぶ-」ムイスリ出版、2018年。趣味は囲碁5段、スポーツ観戦(楽天イーグルスファン)、座右の銘「一期一会」。

主催:東北工業大学 Well-being 研究所
後援:東北工業大学研究支援センター

お問い合わせ

東北工業大学 Well-being 研究所
仙台市太白区二ツ沢6番 東北工業大学 長町キャンパス
TEL: 022-304-5527 (経営コミュニケーション学科事務局)
E-mail: kanai@toitech.ac.jp

(2) 講演会(第2回)

講師:佐々木綾子氏(認定NPO法人STORIA代表理事)

テーマ:「子どもの貧困から考える『ウェルビーイング』～子どもたち一人ひとりが自分らしく生きられ、幸せに生きられる未来とは～」

日時:2023年2月8日(水)14:00～15:30

主催:東北工業大学 Well-being 研究所

後援:東北工業大学研究支援センター

形式:zoom

参加者:32名(申込者43名)

東北工業大学 Well-being 研究所 令和4年度第2回講演会

講演 テーマ

子どもの貧困から考える『ウェルビーイング』

～子どもたち一人ひとりが自分らしく生きられ、幸せに生きられる未来とは～

講師
認定NPO法人STORIA 代表理事
佐々木 綾子 先生

開催日時 **2023年2月8日(水)** 14:00～15:30
(13:30～アクセス可能)

開催方法 **オンライン会議アプリ「Zoom(ミーティング)」で配信**

参加費 **無料**

*あらかじめ「Zoom」をPCやスマートフォンなどのデバイスにインストールしておいていただきますようお願いいたします。



講師プロフィール:
佐々木 綾子 (ささきあやこ)
東日本大震災後、「子どもの貧困」の根本解決を目指す、2016年に法人を設立。「貧困の連鎖から愛情が循環する未来へ」をビジョンに、困難を抱えた子どものセーフティネット事業と保護者の相談支援事業を地域や行政、企業と協働で取り組んでいる。
2014年仙台市ひとり親家庭等自立促進計画策定協議会委員、2019年仙台市総合計画審議回委員、2020年協働まちづくり審議委員を歴任。

申込方法

- 事前申し込みが必要です。
- 申し込み締め切り: **2023年2月1日(水)**

<https://forms.office.com/r/VJBkhj4Zr>

もしくはQRコードからお申込みください。
※開催3日前までに、参加用Zoom URL、ID、パスコードをメールにてお送りいたします。

※ZoomはZoom(株)が、Zoom Video Communications, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



主催:東北工業大学 Well-being 研究所
後援:東北工業大学研究支援センター

お問い合わせ

東北工業大学 Well-being 研究所

仙台市太白区二ツ沢6番 東北工業大学 長町キャンパス
TEL:022-304-5527 (経営コミュニケーション学科事務室)
E-mail: kanak@tohtech.ac.jp

(3)コロナ禍における社会の well-being についての研究の継続

①経済学的側面での分析課題

- ・コロナ禍下の消費行動はどのようなものか
- ・コロナ禍による生活スタイルの変化は消費に何らかの影響を及ぼしたか

②心理学的側面での分析課題

- ・コロナ禍下における特徴的な欲求（承認欲求・所属欲求・自己実現欲求など）は何か、
- ・コロナ禍下において、人々はどのような状況においてフラストレーション（欲求不満）を感じるのか、
- ・コロナ禍下における人々の自己効力感や自己肯定感の程度はどうなっているか

③コミュニケーション学的側面での分析課題

- ・コロナ禍下での非言語メッセージ(マスク着用)についての、子どもの認識とコミュニケーションへの影響はどうか
- ・より多様な考え方や生き方がみられる今日の社会において、若い女性の性役割意識と行動はどうか